

学校力・教師力を向上させます 個別目標4	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート「学校は、校内研究や校内研修を通して、教師の授業力向上に努めている。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合が、	2	・児童主体の学び、主体的・対話的で深い学びによる授業改善、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による授業改善を行っているが、不十分な部分もあるので一層推進していく。 ・今年度は、OJT主任を新設し、教員一人一人が講師となり自分の得意なことを一人一回以上伝授するOJTを実施し、合計34回になった。	A	11	・児童に対しての熱を感じる。教職員に関しては、いまひとつ補充があればウェルビーイングに近付くと思います。 ・元気で学んでいる児童を見て、又、活発なキャンパスの様子を感じている。 ・教科担任制を行っているため、クラスごとの差が少ないように感じている。 ・OJT主任を新設し、若手教員を育てていく取組は素晴らしい。 ・「校長室」からを拝読。亀の卵・子どもたちの大掃除・麦藁細工でのポスターづくり・ビーチサンダルの整頓・靴箱。本当に感心した。これが学校力だと思う。トウモロコシの皮むき体験もいい。冬休み前の生活指導部の先生たちの寸劇は教師力ではと思う。学校関係者評価はもう少しよいと思う。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3						
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	4						
自分たちの学びを支援し、生きる個別目標5	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	児童アンケート「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	3	・発達障害についての理解促進研修の実施、巡回心理士、発達障がい支援アドバイザーによる助言を指導に生かしている。 ・6月・11月・2月のこどもの心サポート月間では、全学年でいじめに関するアンケート(学期に1回)や第3～6学年で学級集団調査(WEBQU)を実施し、児童の学校生活における不安や悩みを早期に発見し、必要に応じて面談を実施し、スクールカウンセラー及び関係諸機関を活用して組織的に対応している。 ・大田区いじめ防止基本方針・東浦小学校いじめ防止基本方針に基づきいじめ対策委員会を設置し、年間3回以上いじめに関する授業及び教員研修の充実と組織的対応を図るとともに保護者・地域・関係機関と連携して、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組んでいる。また、「いじめをゆるさない」という児童の自治の力を教育活動全体を通して育成する。	A	13	・インクルーシブ教育という面においては、「おちこぼれそう」な児童にも指導が届いているように感じる。ここにも人材がほしい。 ・教員の資質・能力の向上に対しての支援の充実を更にお願ひする。 ・先生方が子ども一人一人に丁寧に対応してくれていると感じる。こどものことで相談をすると真摯に対応してくれる。 ・「校長室から」を拝読。服務事故防止研修・スクールカウンセラー全員面接(1・3・5年)には驚いた。おそらく知らない人が多いと思う。これらの積み重ねが子ども一人一人を育てていると思う。困難のある子の話を聞き逃すことがないことが、環境整備だと思う。
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	4						
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3						
柔軟で創造的な学習環境をつくります 個別目標6	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行い、学校の安全体制もできている。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合が、	2	・毎月一回の全教員による安全点検を実施し、その後安全衛生会議を開催し、児童の安全・安心を最優先に考え、故障箇所などを速やかに修繕している。 ・昨年度5月から、避難訓練は全て予告なしで実施し、緊張感をもって児童は取り組んでいる。より一層実際の災害に即して改善していく。	A	9	・世界的に自然が変化する中であって、日常的に「自分を守る」訓練が重要と思う。 ・継続的にしっかり取り組んでいただきたい。 ・放課後ひろばでも避難訓練を行うが、学校でしっかり指導してくれているのでこどもたちは放課後ひろばでもきちんと避難してくれる。 ・評価は低すぎると思う。 ・予告なしの避難訓練で、日ごろからこどもがどうしたらいいのかを考えさせることができている。 ・学校公開日に児童から「どう茶」のもてなしを受けた。とってもよいことだと思った。これが柔軟で創造的な学習空間だと私は思う。私がPTA役員だったころに比べて廊下・階段がきれいになった。ビーチサンダルの整頓・靴箱・傘立ての整然とした状況が安心な教育環境の原点のように思う。学校関係者評価はもう少しよいと思う。
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4						
学校・地域・家庭・コミュニティの連携・協働による個別目標7	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート「学校は、地域・社会の教育力をこどもたちの教育活動(授業や夏休みサマースクール等)に生かしている。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合が、	2	・スクールサポートとうほと連携して、サマースクールを行っている。昨年度に引き続きは、初めてオータムスクール、ウィンタースクールも実施した。サマースクールでは、教員も得意なことを生かして、初めて講座ももった。 ・登下校の見守りはPTA及び町会の協力で実施している。そのため、大きな事件・事故は発生していない。 ・家庭教育に関する情報の発信など、今後の課題として取り組んでいきたい。	A	10	・保護者の方々の熱心さは感じる。方向が少し違う気がする。児童、教職員、保護者の連絡や意思の疎通がほしい。 ・家庭学習の機会は無駄でも取り組むべきと考える。 ・地域のイベントやPTA行事など、土曜日や日曜日の開催にもかかわらず先生方が参加してくださっているのは素晴らしいことだと思う。 ・先生方によるサマースクールはこどもたちにとっても好評だった。先生方の普段見られない一面が見られる機会となった。 ・地元、自治体として、今後も、こども見守り、防災、防犯、通学見守りなど、協力いたします。令和7年度 防犯カメラ6台設置済。 ・評価は低過ぎると思う。地域との連携はとてもしている。 ・夏休みのわくわくで、中学生が子どもたちの手伝いができてよかった。今後も続けさせたい。 ・「校長室から」を拝読。マモリンピック東浦田・お祭り・あすチャレスクール・自転車教育・小さな運動表彰・エコキャップリサイクル・避難訓練などを読むと、学校関係者評価はもう少しよいと思う。
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4						
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3						

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す